

経営比較分析表（令和6年度決算）

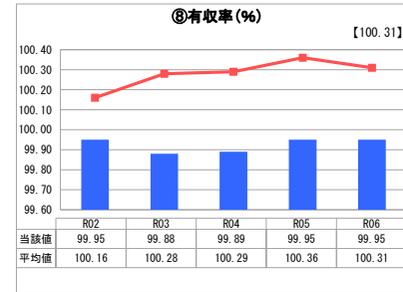
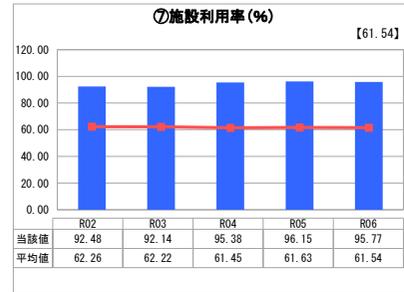
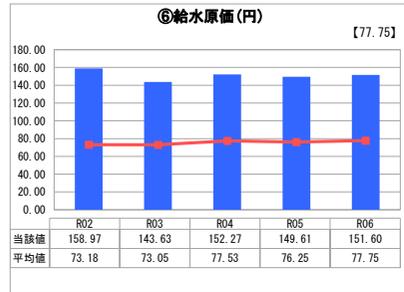
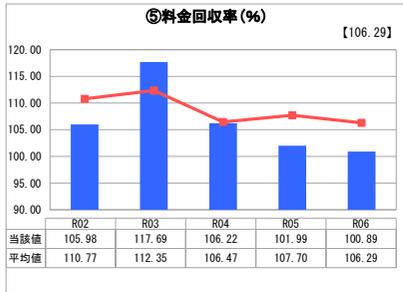
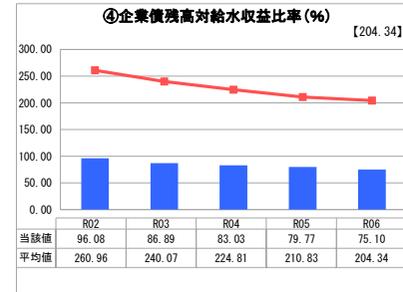
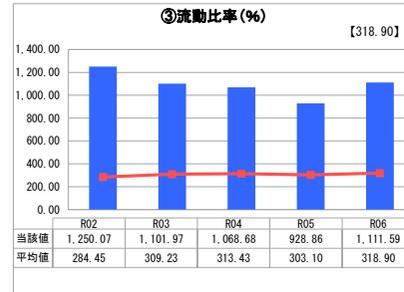
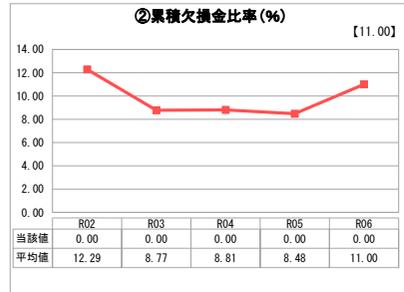
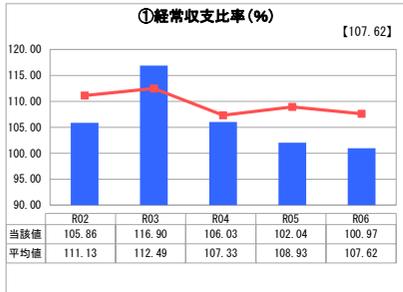
千葉県 印旛郡市広域市町村圏事務組合（事業会計分）

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	88.11	66.58	0	

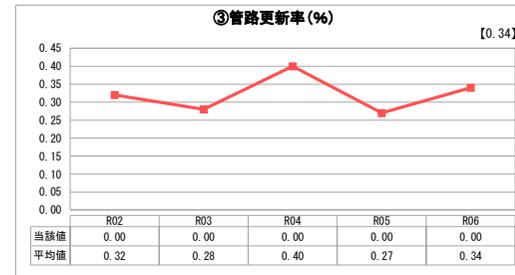
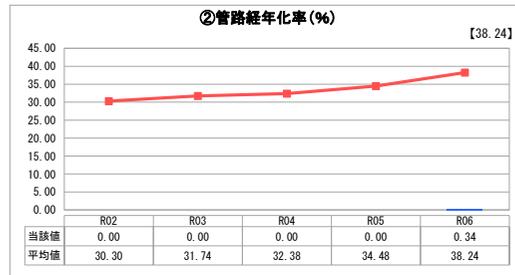
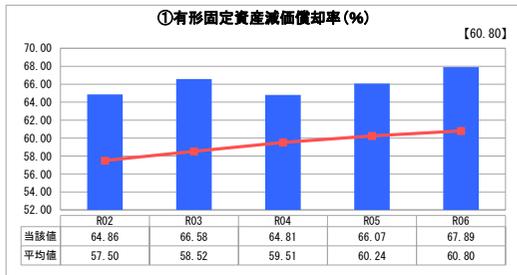
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
483,324	319.90	1,510.86

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、過去5年間に於いて100%を上回っているが、前年度と比較すると有収水量が増加したことにより給水収益は増加したものの、営業費用等が増加したため、指標が悪化した。
また、今後、給水収益の大幅な増加は見込めない一方、営業費用の増加が見込まれることから、料金回収率を注視しつつ更新投資及び企業債償還に充てる財源の確保を計画的に行っていく必要がある。
なお、累積欠損金は生じておらず、流動比率も類似団体より高いため、財源状態は健全といえる。
当組合は創設事業を継続している団体であり、現時点では浄水場等を有しておらず、取水から浄水処理までを第三者委託により運営している。そのため、施設利用率は、類似団体の平均値と比較して良好な値を示している。企業債残高対給水収益比率も、類似団体と比較して低いが、施設更新のピークに達していないことも企業債残高が低い一因であるため、更新投資の進捗とともに当該指標を継続して注視していく。
前年度と比べて、給水原価が上昇したため、料金回収率は悪化した。経常収支比率と同様に、これらの指標の推移を把握しつつ更新投資等に充てる財源を適正な規模に確保して参りたい。

2. 老朽化の状況について

現状、更新基準に達していないため、管路更新は実施していないが、管路経年劣化は今後上昇していく見込みである。
将来の大規模更新を見据え、更新事業費の平準化を目指し、更新投資の時期及び事業費について引き続き計画・検討していく。

全体総括

財政状態は良好であるが、今後も収支バランスに留意し、経営の健全性の確保に努める。当組合の効率性の良さは、浄水処理業務を第三者委託していることに起因している。しかし、組織体制及び業務の更なる見直し等に取り組み、人件費、工事費及び委託料等経費削減を図り、効率性を更に向上させる必要がある。
近年は、構成団体の地下水から表流水への転換に伴う水需要の増加により、給水収益の大幅な伸びは見込めない状況である。一方、創設事業に加え、老朽化施設の大規模更新が控えており、企業債残高の増加が見込まれている。そこで、資本投下の効率性を高めつつ、更新投資の財源確保に努めるため、適正な料金水準について引き続き検討を行う。また、今後の社会情勢に対応するため、令和7年3月に策定した当組合水道ビジョン・経営戦略を適時見直し、施策の効果の検証を継続する。